

学生から教員への教師像の変容分析

明星大学教育学部教育学科 客員教授 深井 薫

1 はじめに

私は、今年度免許更新講習の担当になった。30代から60代の先生方が熱心に話を聞いてくださった。あっという間の3時間であった。ちょうど通学生の初等教育実習、初等教育実習指導も担当しており、学生と現職の先生方で、教育や教員としての意識がどう変化していくのか興味を持った。そこで両者の方々が書いたものを比較・考察し、実践報告としたい。

2 教員とは

私が初異動した学校での話である。確か昭和60(1985)年代初めの頃だったと思う。職員室で、私が「教員はサービス業よね。」と言ったところ、40～50代の先輩の先生から「何を言っているのよ。教職は聖職よ。」としかられたことがあった。その頃でも、聖職という言葉が流布していた。また一方では、教員は労働者とも言われていた。

そもそも教職とは、どのような職種なのであろうか。

① 聖職

古来より教師には「三步下がって師の影を踏まず」と言われるような聖職者のイメージがあった。明治時代以降もこの流れの中にあった。1881年文部卿福岡孝弟による少々長く読みづらいが、小学校教員心得を引用する。「一人を導きて善良ならしむるは多識ならしむるに比すれば更に緊要なりとす 故に教員たる者は殊に道德の教育に力を用い、生徒をして皇室に忠にして国家を愛し父母に孝にして長上を敬し朋友に信にして卑幼を慈し及自己を重んずる等 凡て人倫の大道に通曉せしめ且常に己が身を以て之が模範となり生徒をして徳性に薫染し善行に感化せしめんことを努べし」(原文カタカナ、二以下略)と述べられている。さらに、初代文部大臣森有礼が交付した1886年の師範学校教育令の「順良・信愛・威重」と相まって近代日本の教師像が形成された。

② 労働者

戦前の教師像が一変したのは、終戦後である。GHQの占領政策のもと、矢継ぎ早に教育改革が行われた。戦前の聖職像も変更を迫られた。民主主義志向に欠け、画一的な指導を無批判に受け入れたとして新しい教師像が喧伝されるようになった。戦前の反省のもと、教師像についても考えられるようになってきた。「教え子を戦場に送るな」のスローガンのもと結集した日本教職員組合(日教組)も代表的な一つである。1952年「教師の倫理綱領」の中で「教師は労働者である」と明記された。終戦からだいぶたってはいたが、まさに私が二校目で経験したことは、古来受け継がれてきた聖職像が残されていたのであった。私が言ったことも当時流布していた考え方であった。

③ 専門職

1966年ILO/ユネスコ宣言『教員の地位に関する勧告』が発表された。その前文に「教育の進歩における教員の不可欠な役割、ならびに人間の開発および現代社会の発展への彼らの貢献の重要性を認識し、教員がこの役割にふさわしい地位を享受することを保障する」と掲げ、そのために「教育の仕事は専門職とみなされるべきである。この職業は厳しい、継続的な研究を経て獲得され、維持される専門的知識および特別な技術を教員に要求する公共的業務の一種である。また、責任をもたされた生徒の教育および福祉

に対して、個人的および共同の責任感を要求するものである」として教師の専門性に言及している。

マスコミによる教師バッシングや、保護者の高学歴化を背景として教師に対する信頼感を揺るがすような社会の風潮が広がるようになってきた。最近ではいわゆる教職のブラック化がいわれ、教師の人材不足がさげられるようになってきた。

大学での教員免許取得者は多いとはいえ、実際に教師として児童生徒を指導するためには、専門的知識と実践的研究や実践力が必要である。

3 専門職としての教職とは

1987年教育職員養成審議会は「いつの時代にも求められる資質能力」として

- ① 教育者としての使命感
- ② 人間の成長・発達についての深い理解
- ③ 幼児・児童・生徒に対する教育的愛情
- ④ 教科等に対する専門的知識
- ⑤ 広く豊かな教養

以上の5項目を基盤にした実践的指導力を身に付けるよう求めた。

さらに、1997年「今後特に求められる資質能力」を有する教師像を示した。

- ① 地球的視野に立って行動するための資質能力
 - ・地球、国家、人間等に関する適切な理解
 - ・豊かな人間性
 - ・国際社会で必要とされる基本的資質能力
- ② 変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力
 - ・課題解決能力に関わるもの
 - ・人間関係に関わるもの
 - ・社会の変化に適応するための知識及び技能
- ③ 教員の職務から必然的に求められる資質能力
 - ・幼児・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解
 - ・教職に対する愛着、誇り、一体感
 - ・教科指導、生徒指導のための知識、技能及び態度

に加えて、3Pが求められている。

3Pとは、

- ① 教師の教職に対する強い情熱－passion
- ② 教育の専門家としての確かな力量－professional
- ③ 総合的な人間力－personality

である。

本稿では、現職教員と大学生が、「教師の教職に対する強い情熱」、「教育の専門家としての確かな力量」、「総合的な人間力」をどのようにとらえているのかを調査票を元に考察していきたい。

夏季休業中に行われた免許更新講習の受講者と、本学通学者の内、私が受け持つ3、4年生を対象にして調査した。

免許更新講習受講者の校種等の内訳は、こども園6名、保育園12名、幼稚園8名、中高等学校1人、

高等学校3名、中学校5名、小学校26名、特別支援学校4名であった。

全受講者65名の中、30代36名、40代22名、50代4名、60代2名であった。そのうち30代が受講者中約5割5分、40代が約3割3分であった。30代と40代で全体の8割9分を占めていた。15年前に60代が大量退職し、それを埋める形で大量採用された教員が30～40代にさしかかってきたといえよう。

免許更新講習受講者の校種別年齢構成

校 種	受 講 年 齢	人数	総計
こども園	32、32、32、33、34、34	6	6
保育園	30、32、34	3	12
	43、43、43、44、44、44、44、44、47	9	
幼稚園	30、31、33、33、34	5	8
	41、44	2	
	54	1	
小学校	30、30、30、31、31、31、31、31、 32、32、32、33、34、34	14	26
	43、43、43、44、44、44、44、44、47	9	
	53	1	
	63、64	2	
中学校	31、31、33、34	4	5
	53	1	
中高校	45	1	1
高校	33、33	2	3
	63	1	
特別支援学校	32、34	2	4
	43	1	
	53	1	

① 教師の教職に対する強い情熱

現職の先生方や学生の書き記したもので、意味が不明瞭なものについては分かりやすく書き直した。先生方の気持ちを考えできるだけそのまゝの表現にした。集計結果は以下に表にした。ご覧いただきたい。

先生方は職についてすでに10年～20年経験した方々である。幼稚園、保育園、小学校など年齢の低い子供たちを対象にしている校種では愛情などが大きなウエイトを占めている。全人的に関わる小学校以下の校種では、子供との交流が特に大事であると考え。小学校から中学校以上では責任感や使命感、向上心などの項目が増えている。時々刻々変貌する現代社会には、急速な変化に対応できなければならない。知識は情報もすぐに役立たなくなる。常に学び続ける必要がある。特別支援学校でも、障害のある子供たちに対する愛情や使命感があげられていた。

学生は2年生で学校にインターンシップとして週1回7ヶ月ほど行って活動している。また3年生では、介護等体験で特別支援学校や、介護施設などでの活動を経験している。4年生では、教育実習を体験している。それぞれの活動のなかで、教職とはどのようなものかを考えるよい機会となっている。もともと子供が好きな学生たちであるから、アンケートでも子供と関わる楽しさがあげられている。大事ですばらしい職業であると思っはいるが、まだまだ具体的なイメージが乏しい状況であることが読み取れる。教員採用試験の結果がわかったこの時点で、学生には、これから教職に就くからには退職するまで学び続けることが大事であると言いつけている。4月になるまでも学校へ行く機会には是非教員の言動を学ぶこと、子供たちの様子も観察するように言っている。教員に採用されれば学生の時とは違い、人と比べることもなく、漫然と1年、2年と過ぎてしまうのは恐ろしく思う。10年目の研修で授業を見る機会がある。10年間誠実に学び続けた人とそうでない人とを見て力の差に愕然としたことがあった。目の前にいる子供たちのために是非学び続けてほしいものである。

表1 教職に対する熱い情熱

現職教員

校種	(1) 教職に対する熱い情熱	
こども園	公私の生活を上手に調整しながら学んでいく 1人	
保育園	使命感	2人 愛情 2人
	常に学び続ける向上心	2人 誇り 1人
	やりがい	1人 こども理解 1人
	人権の尊重	1人
幼稚園	愛情	5人 責任感 5人
	誇り	4人 向上心 4人
	使命感	3人 時代に合わせた指導 2人
	教職に対する愛情	1人 個性の尊重 1人
	子供たちの活動をつくっていく	1人 子供から出たものを生かす 1人
	柔軟な対応力	1人 自尊心を育てる 1人
	子供たちの利益を守る	1人 生きる力を育てる 1人
	子供があこがれる教師になる	1人
小学校	向上心	14人 愛情 11人
	責任感	9人 使命感 6人
	誇り	5人 自己肯定感を高めさせる 2人
	やりがい	1人 あこがれや頼れる存在 1人
	心に決めたものをもつ	1人 寄り添い共感できる 1人
	挑戦	1人 信頼できる教師 1人
	個に応じた指導	1人 研修 1人
	安心して楽しく学べるように	1人 チーム学校として教育 1人
	教諭への指導	1人 人間関係構築 1人
	人格の尊重	1人 思いやり 1人
	自己肯定感を高め友達も認め楽しく暮らし社会で活躍できるよう育成	1人
	全力を尽くす気持ち	1人
中学校	責任感	5人 愛情 4人
	学び続ける向上心	4人 使命感 3人
	誇り	2人
中高校	意欲・勇気を育てる	1人
高校	向上心	3人 使命感 1人
	誇り	1人 愛情 1人
	責任感	1人 内省力 1人
特別支援学校	使命感	2人 愛情 2人
	向上心	2人 対応力 1人
	誇り	1人 責任感 1人
	子供と共に学ぶ	1人 子供に教わる姿勢 1人
	子供のことを第一に考える	1人 成長を助ける喜び 1人

大学生

学年	(1) 教職に対する熱い情熱	
4年	愛情	1人 学び続ける向上心 1人
	思いやり	1人 自分が楽しめるか 1人
	環境作り	1人 学ぶことは楽しい 1人
	学びを広げる	1人 子供が楽しく過ごせる 1人
	子供のできることを増やす	1人 児童に寄り添いつつ先を見る 1人
	子供に経験や成長をしてほしい	1人 いい意味で仕事を割り切る 1人
	子供と理想をつくり、達成するために力を合わせる	1人
	生活指導や掲示、ルール等にどこまで工夫努力できるか	1人
	理想と現実のギャップを埋めようとする思い	1人
	自分の価値を高められるように	1人
3年	誇り	1人 やりがい 1人
	責任	1人 魅力 1人
	あきらめないこと	1人 一人一人に向き合う情熱 1人
	子供への情熱	1人 すてきな職業 1人
	入学当初の思い	1人 個人の将来に係わる大事な職 1人
	強い思い、願い	1人 共に寄り添う価値のあるもの 1人
	生きがい	1人 生きる楽しみ 1人

② 専門家としての確かな力量

団塊の世代の退職から10年以上が過ぎて、多くの若手教員が採用されている。平均年齢も若くなってきている。先輩の教育資産が継承されないままになって久しい。校長先生から、初歩の研修を行わなければ学校が立ちゆかなくなっているという話を聞いたことがある。今こそチーム学校として教師の力量を上げたいものである。

各校種とも授業に関わる力を多くあげている。授業が子供にとって魅力的なものになるよう期待したい。教材研究、子供理解等多くのことを学ぶ必要がある。目の前にいる子供とは一期一会の気持ちで臨みたい。

学生も主体的で対話的な学びという言葉は知っているが、深い内容については理解できていないように思う。大学在籍中、学んでほしい。さらに読書をして理論と実践とを結びつけ、教師になったときに実践に生かせるようにできたらと願っている。学生も即戦力になるという気持ちを持ってはいるが、足もとを固めてほしい。

表2 専門家としての確かな力量

現職教員

校 種	(2) 専門家としての確かな力量	
こども園	自覚 1人	自信 1人
保育園	学級作りの力 1人	授業作り 1人
	教材研究 1人	指導力 1人
	信頼関係 1人	
幼稚園	学級作りの力 6人	子供理解 4人
	集団指導の力 4人	児童・生徒指導力 3人
	教材解釈の力 2人	学習指導力 1人
	音楽的知識・演奏技術 1人	教師自身の学び 1人
	専門スキル(ピアノ・歌・集団遊び・造形活動・リトミック・英語) 1人	
	保護者への助言 1人	連携 1人
小学校	子供に合った指導 1人	
	授業力 11人	教材研究 8人
	学級経営 6人	子供理解 6人
	教科指導力 4人	授業作り 4人
	学習指導 4人	集団指導力 3人
	生活指導 3人	発達障害の知識・理解 2人
	指導法 1人	カウンセリング 1人
	プロとしての自覚 1人	健康相談 1人
	頼られる存在 1人	対応力 1人
	学級作りの力 1人	個に応じた指導 1人
	OJT 1人	学校運営 1人
中学校	信念 1人	自己肯定感の育成 1人
	授業力 3人	学級作りの力 3人
	子供理解力 2人	児童・生徒指導力 2人
	教材解釈の力 2人	学習指導授業作りの力 1人
	生活指導 1人	集団指導の力 1人
進路指導 1人		
中高校	授業力(知識横断的な力) 1人	
高校	授業作りの力 1人	教材解釈の力 1人
	学級作りの力 1人	生徒指導力 1人
	集団指導の力 1人	子供理解力 1人
	子供のためにどうしたらよいか考える 1人	プロ意識 1人
	主体的に興味をもつよう促す指導 1人	
特別支援学校	学習指導・授業作りの力 3人	子供理解力 3人
	障害理解 2人	教材解釈の力 1人
	実際に合わせた指導 1人	児童生徒指導力 1人
	集団指導の力 1人	学級作りの力 1人
	自己肯定感を高める指導 1人	

大学生

学 年	(2) 専門家としての確かな力量			
4年	授業力	5人	対応力	2人
	生活指導力	1人	指導力	2人
	適切な関わり方	1人	倫理観	1人
	実行力	1人	見通す力	1人
	子供の声を受け止める	1人	力を見極めて伸ばす	1人
	授業と学校生活の充実	1人	考える力の育成	1人
	相手理解と自己理解	1人	個の指導の充実	1人
3年	知識量	3人	人間性	2人
	指導力	2人	学級経営力	1人
	子供理解力	1人	道徳性	1人
	自主性	1人	責任感	1人
	演技力	1人	行動力	1人
	カウンセリングマインド	1人	洞察力	1人
	臨機応変に対応できる力	1人	判断力	1人
	信頼関係	1人	成績を上げる	1人
	間違いに気づき修正できる力	1人	先導する力	1人
	成長を手助けできる力	1人	助言の力	1人
	見えないところで努力できる力	1人		

③ 総合的な人間力

各校種とも豊かな人間性やコミュニケーション力をあげている。ITが発達した現代社会では、直接人と関わらずとも生きていける世の中になってきた。特に教師は子供たちと関わる対人援助職でもある。目の前にいる子供たちをありのままに理解し、寄り添える人であってほしい。そのためには、多角的な視野をもち、肯定的に子供を理解できる人であってほしい。そのためには、対人関係能力が是非とも必要である。

学生にも、学生時代様々な経験を積み、抽象的な言葉で書かれた内容を是非実践的に高めてほしい。「我以外皆我が師」という言葉がある。さらには松下電器(現パナソニック)の創業者松下幸之助氏も「万物ごとく我が師」と言っている。この精神こそ、教師として子供はもちろん周りの人から謙虚に教えてもらおうとする気持ちが大事だと思う。

表3 総合的な人間力

現職教員

校 種	(3) 総合的な人間力			
こども園	広い考え	1人		
保育園	豊かな人間性	3人	協力	3人
	社会性	2人	コミュニケーション能力	2人
	常識と教養	1人	礼儀作法	1人
	対人関係能力	1人	学ぶことの楽しさ	1人
幼稚園	礼儀作法	5人	コミュニケーション能力	5人
	社会性	5人	協力	5人
	豊かな人間性	4人	常識	4人
	対人関係能力	2人	愛情	1人
	広い視野	1人	タフ	1人
	行動を起こすこと	1人		
小学校	コミュニケーション力	12人	対人関係能力	9人
	常識・教養	9人	礼儀作法	8人
	豊かな人間性	5人	手本	4人
	協力	4人	社会性	3人
	自分を高める	3人	教養	2人
	人間性(思いやり・優しさ)	2人	チャレンジ精神	2人
	人当たりのよさ	2人	社会のルール	2人
	挨拶	1人	礼節	1人
	謙虚	1人	模範意識	1人

	人間的魅力	1人	柔軟な対応力	1人
	自由に発言できること	1人	愛情	1人
	集団行動	1人	人間として	1人
	専門性	1人	信頼	1人
	知識	1人	視野の広い人	1人
	愛情	1人	技能	1人
	児童理解力	1人	肯定的見方	1人
	内省力	1人	自覚	1人
	誠実	1人	大切に思う心	1人
	思いやり	1人	公共の精神	1人
	当たり前を当たり前に行える	1人	日本の伝統文化の尊重	1人
	質問できる雰囲気	1人	知徳体の調和のとれた人間	1人
中学校	コミュニケーション能力	4人	豊かな人間性	3人
	礼儀作法	4人	協力	3人
	社会性	2人	常識と教養	2人
	対人関係能力	2人	適応力	1人
	発想力	1人	柔軟性	1人
	公平な態度	1人	幅広い知識	1人
	尊敬される存在	1人	信頼関係	1人
	柔軟性	1人		
中高校	豊かな人間性	1人	コミュニケーションスキル	1人
	表現力	1人	観察力	1人
高校	コミュニケーション能力	2人	豊かな人間性	1人
	社会性	1人	常識と教養	1人
	礼儀作法	1人	対人関係能力	1人
	協力	1人		
特別支援学校	豊かな人間性	2人	社会性	2人
	対人関係能力	2人	常識と教養	1人
	礼儀作法	1人	コミュニケーション能力	1人
	協力	1人	豊かな気持ち	1人
	柔軟性	1人	挑戦	1人

大学生

学 年	(3) 総合的な人間力				
4年	コミュニケーション能力	4人	思いやり	2人	
	知識の活用	2人	相手を思いやる心情	2人	
	対応力	2人	社会性	1人	
	教養	1人	礼儀	1人	
	確かな学力	1人	学び続ける力	1人	
	人としての魅力	1人	個を大事にできる	1人	
	他者との関わり	1人	計画性	1人	
	心の温かさ	1人	自己管理能力	1人	
	気遣う心	1人	公共心	1人	
	観察眼	1人	手本	1人	
	安心感	1人	好印象	1人	
	考える力	1人	考え深め発信する力	1人	
	3年	協力	1人	臨機応変な対応力	1人
		責任感	1人	広い視野	1人
道徳性		1人	適応能力	1人	
自主性		1人	ものの見方考え方	1人	
手本		1人	多面的に物事を見る力	1人	
場に合った行動		1人	思いやり	1人	
周りを考えられる		1人	ルールを守る	1人	
親切		1人	協調性	1人	
相手の気持ちを考える		1人	相手の立場を考える	1人	
周りとうまく関われる		1人	機会を生かす	1人	
自分を押し殺さずに人と接する		1人	課題を仲間と対話しながら解決できる力	1人	
当たり前のことを当たり前に行える		1人	人間力の育成	1人	

4 終わりに

このたびは免許更新講習の講師としての機会をいただき、多くのことを考えることができた。これからも教師になる学生の支援をしていきたいと考える。

参考文献：

武田明典・村瀬公胤・嶋崎政男編著『現場で役立つ教育の最新事情』 北樹出版